

ロバート・S・デリック（ロバート）

合同メソジスト農村・農業開発プログラム（UMRADP）

リベリア・モンロビア オールド マタビ

民族 / 部族: グレボ
母語: グレボ語
宗教: キリスト教
職業: マーケティング・オフィサー



仕事について：

「生涯を通じて、私はいつも優秀であろうと努めてきました。家族の農場で働き、学費を工面するなど、貧しい生い立ちを通して、私は人生において、勤勉で楽観的であることの大切さを教えられてきました。」

ロバートは、リベリアの人々が直面する課題に精通しており、強く回復力のあるコミュニティ構築に前向きに取り組む、熱心な農業開発従事者です。彼は共生を信条として、メソジスト教会や合同メソジスト農村・農業開発プログラム（UMRADP）での活動を通じて農民たちへの技術提供を行っています。

ロバートが住む、首都モンロビアの南西に位置するオールドマタビのコミュニティは、長い間、季節的な洪水と不安定な食糧事情に悩まされてきました。彼はUMRADPの農場での作業や近隣の農地への訪問を通じて住民を支援しています。あるプロジェクトでは、コミュニティの農家の収穫量を増やし、顧客とより良い関係が築けるようになることを目指し、適切な農産物とマーケティング戦略について、複数の農業団体に対する研修を行いました。

ロバートはすでにマーケティングと関係構築に関する優れた技術を有していますが、アジア学院では、持続可能な農業と長期的な地域開発の知識を得て、これからの仕事に生かしていきたいと考えています。また、アジア学院の学生間の交流を通じて、多くの学びを得たいと願っています。帰国後は、地元のコミュニティで行っている、持続可能な農業の研修の内容をより深め、リベリア全土に広く行き渡るようなプログラムの実施を目指します。

送り出し団体について：

合同メソジスト農村・農業開発プログラム（UMRADP）は、リベリアの合同メソジスト教会のミッションの重要な要素を占めています。団体は、ロバートが今後3-5年間にわたる事業の将来計画に貢献してくれると期待しています。彼にはマーケティングのスキルがあり、持続可能な農業に関する知識を深めることで、これらの事業を成功させるための重要な役割を果たしていくでしょう。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)